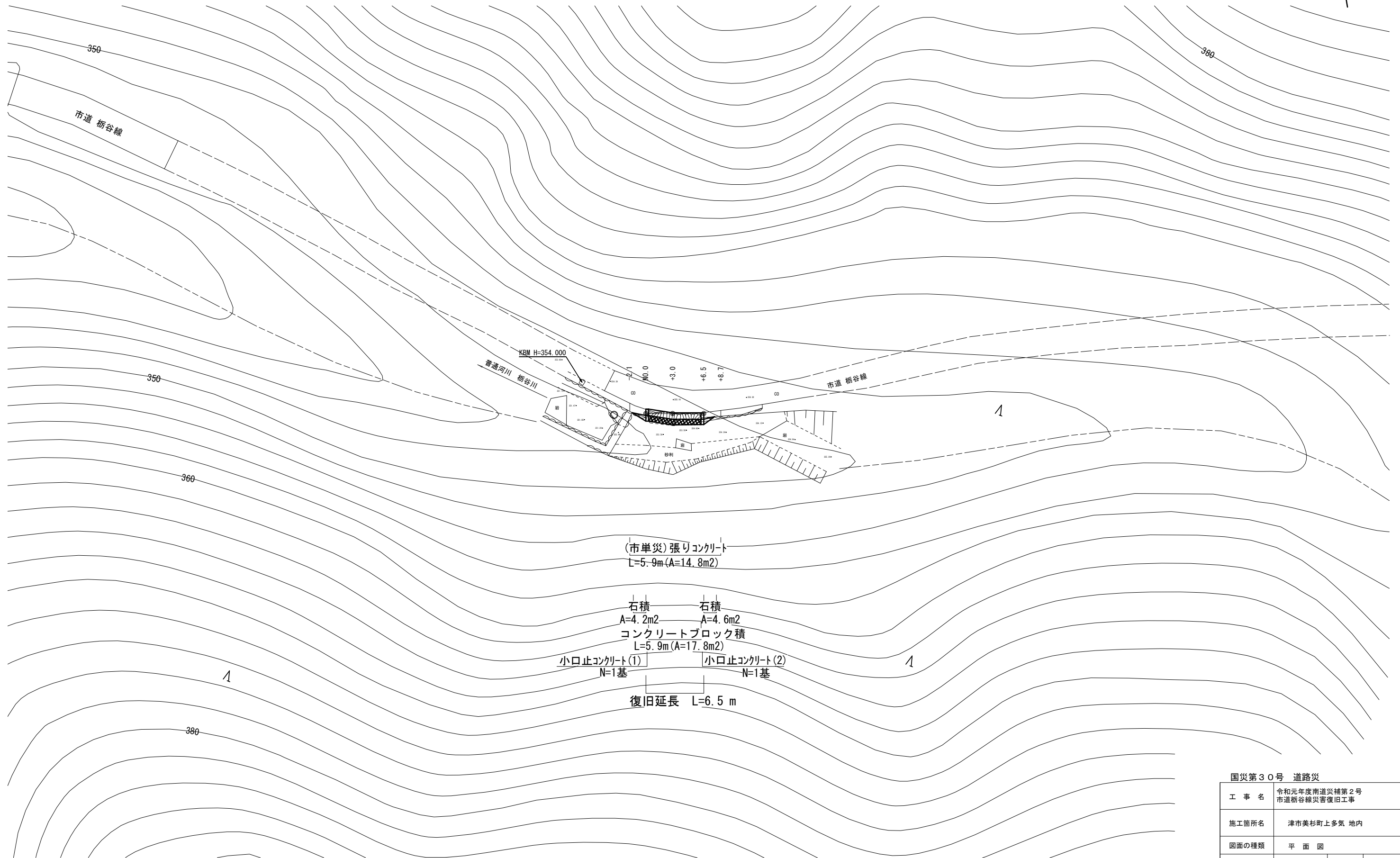


平面図

S=1:200



国災第30号 道路災

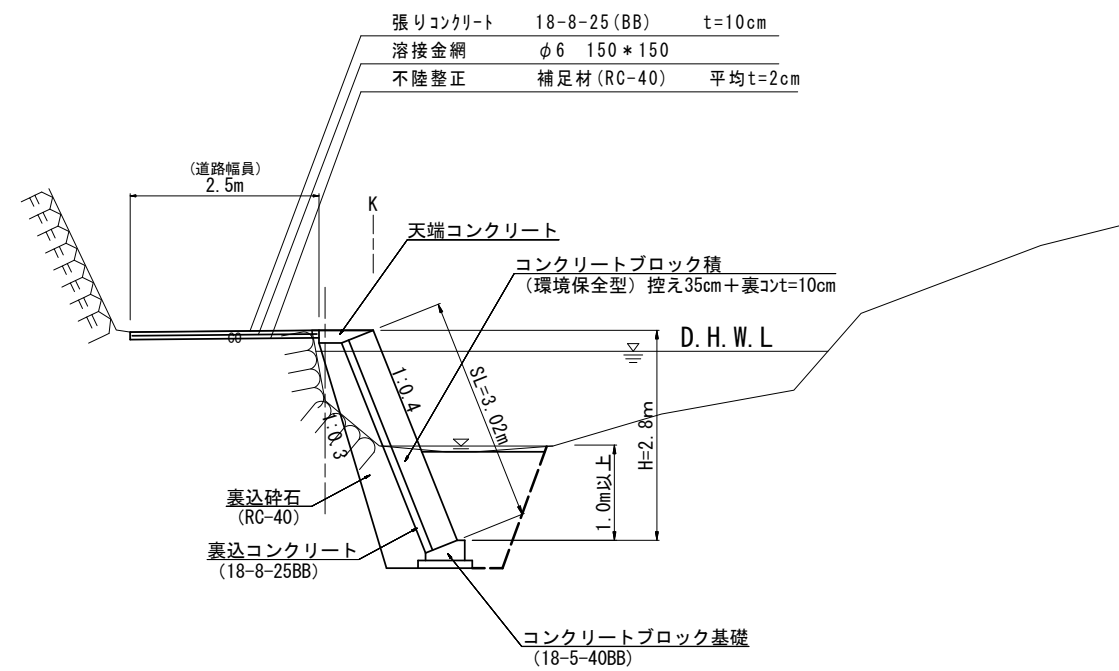
工事名	令和元年度南道災補第2号 市道橋谷線災害復旧工事		
施工箇所名	津市美杉町上多気 地内		
図面の種類	平面図		
縮尺	S=1:200	図面番号	1 / 5
事業所名	津市建設部 津南工事事務所		

※この図面はA1サイズを原寸とする。

# 標準横断面図

S=1:50

NO. 0+3.00



DL=350.00

国災第30号 道路災

工事名	令和元年度南道災補第2号 市道栃谷線災害復旧工事		
施工箇所名	津市美杉町上多気 地内		
図面の種類	標準横断面図		
縮尺	S=1:50	図面番号	2 / 5
事業所名	津市建設部 津南工事事務所		

※この図面はA1サイズを原寸とする。

# 横断面図

S=1:100

NO. 0+3.00

GH=354.20  
FH=

+3.00

種別	細別	数量	単位
掘削	土砂	0.2	m <sup>2</sup>
床掘り	土砂	3.2	m <sup>2</sup>
埋戻し	流用土	1.6	m <sup>2</sup>
盛土		0.1	m <sup>2</sup>

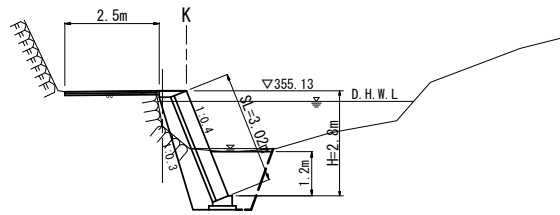
NO. 0+6.50

GH=355.48  
FH=

+6.50

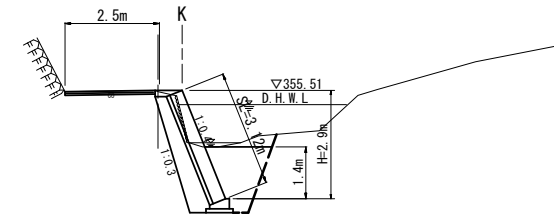
種別	細別	数量	単位
掘削	土砂	1.0	m <sup>2</sup>
床掘り	土砂	3.7	m <sup>2</sup>
埋戻し	流用土	1.9	m <sup>2</sup>
盛土		-	m <sup>2</sup>

353.61



DL=350.00

DL=350.00



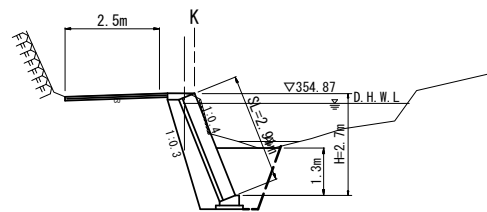
NO. 0

GH=354.87  
FH=

No. 0

種別	細別	数量	単位
掘削	土砂	1.5	m <sup>2</sup>
床掘り	土砂	3.3	m <sup>2</sup>
埋戻し	流用土	1.7	m <sup>2</sup>
盛土		-	m <sup>2</sup>

掘削  $V=(1.5+0.2) \times 1/2 \times 3.0 + (0.2+1.0) \times 1/2 \times 3.5 = 4.7 \text{ m}^3$   
 床掘り  $V=(3.3+3.2) \times 1/2 \times 3.0 + (3.2+3.7) \times 1/2 \times 3.5 = 21.8 \text{ m}^3$   
 埋戻し(流用土)  $V=(1.7+1.6) \times 1/2 \times 3.0 + (1.6+1.9) \times 1/2 \times 3.5 = 11.1 \text{ m}^3$   
 盛土(流用土)  $V=(0.0+0.1) \times 1/2 \times 3.0 + (0.1+0.0) \times 1/2 \times 3.5 = 0.9 \text{ m}^3$   
 残土等処分(土砂)  $V=4.7+21.8 - (11.1+0.9) / 0.9 = 13.2 \text{ m}^3$



DL=350.00

国災第30号 道路災

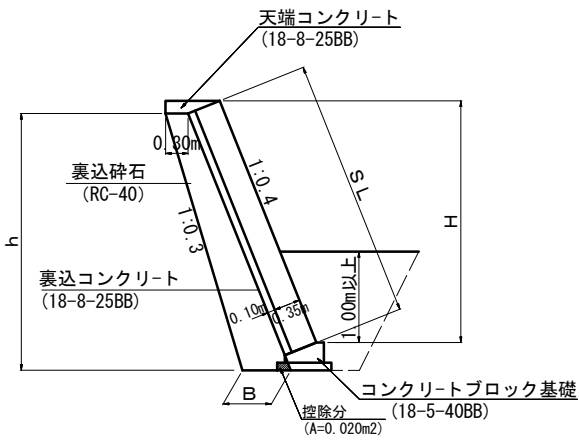
工事名	令和元年度南道災補第2号 市道栃谷線災復旧工事		
施工箇所名	津市美杉町上多気 地内		
図面の種類	横断面図		
縮尺	S=1:100	図面番号	3 / 5
事業所名	津市建設部 津南工事事務所		

※この図面はA1サイズを原寸とする。

# 工 法 図

コンクリートブロック積標準断面図

S=1:50



裏込砕石寸法表

測点	H	h	B	数量 (m3/m)
+0.30	2.70	2.9	0.59	1.27
+3.00	2.80	3.0	0.60	1.33
+6.20	2.90	3.1	0.61	1.39

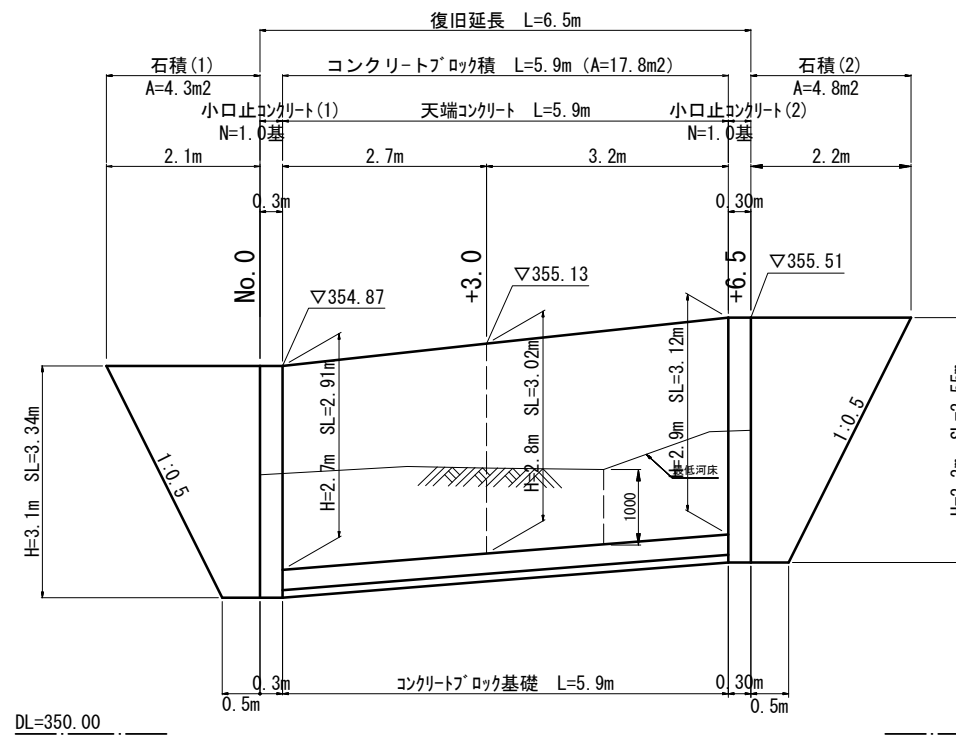
※裏込材数量は控除分(0.020m2)を引いた数値である

裏込砕石

$$V = (1.27 + 1.33) \times 1/2 \times 2.7 + (1.33 + 1.39) \times 1/2 \times 3.2 = 7.9 \text{ m}^3$$

コンクリートブロック積展開図

S=1:50



コンクリートブロック積

$$A = (2.91 + 3.02) \times 1/2 \times 2.70 + (3.02 + 3.12) \times 1/2 \times 3.20 = 17.8 \text{ m}^2$$

石積(1)

$$A = 1/2 \times (2.1 + 0.5) \times 3.34 = 4.3 \text{ m}^2$$

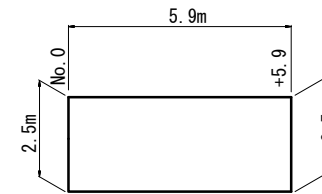
石積(2)

$$A = 1/2 \times (2.2 + 0.5) \times 3.55 = 4.8 \text{ m}^2$$

張りコンクリート展開図

S=1:100

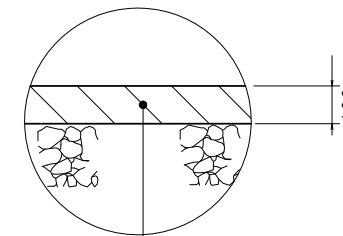
市単災



舗装版切断(コンクリート)	L=2.5+2.5	= 5.0m
不陸整正	A=2.5×5.9	= 14.8m <sup>2</sup>
張りコンクリート一式	A=2.5×5.9	= 14.8m <sup>2</sup>
型枠	A=5.9×0.10	= 0.6m <sup>2</sup>
構造物取壊し(無筋コンクリート)	V=(2.5×5.9)×0.10	= 1.5m <sup>3</sup>
殻運搬(Co殻)	V=(2.5×5.9)×0.10	= 1.5m <sup>3</sup>

表層

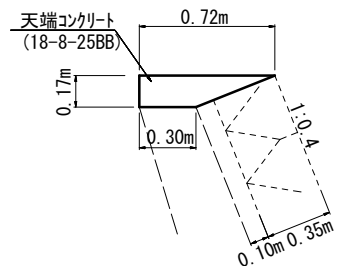
S=1:100



張りコンクリート	18-8-25 (BB)	t=10cm
溶接金網	φ6 150×150	
不陸整正	補足材 (RC-40)	平均t=2cm

天端コンクリート

S=1:20



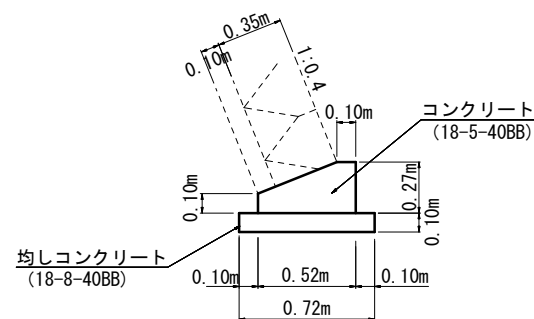
材料表

10m当り

名称	規格	単位	数量
コンクリート	18-8-25BB	m <sup>3</sup>	0.87
型枠		m <sup>2</sup>	1.70
目地材	樹脂発泡体	m <sup>2</sup>	0.09

コンクリートブロック基礎

S=1:20



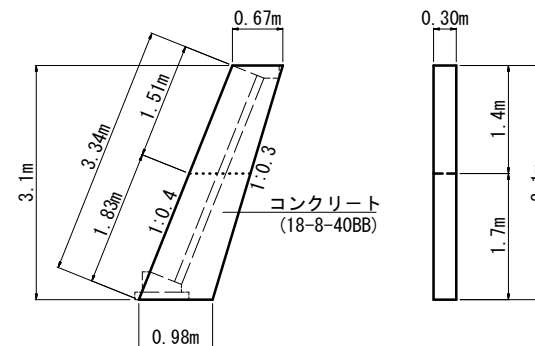
材料表

10m当り

名称	規格	単位	数量
コンクリート	18-5-40BB	m <sup>3</sup>	1.06
型枠		m <sup>2</sup>	3.70
均しコンクリート	18-8-40BB	m <sup>3</sup>	0.72
均し型枠		m <sup>2</sup>	2.00
目地材	樹脂発泡体	m <sup>2</sup>	0.11
基面整正		m <sup>2</sup>	7.20

小口止コンクリート(1)

S=1:50



小口止コンクリート(1)

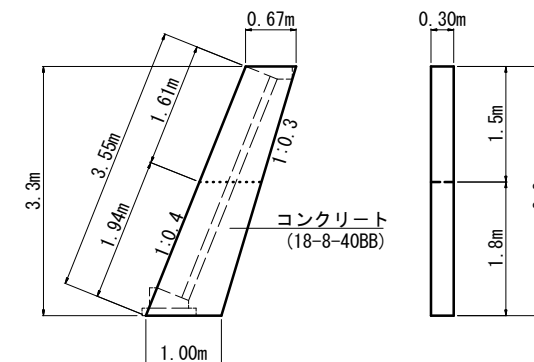
$$V = (0.67 + 0.98) \times 1/2 \times 3.1 \times 0.30 = 0.8 \text{ m}^3$$

$$A = (0.67 + 0.98) \times 1/2 \times 3.1 \times 2 + 1.83 \times 0.3 = 5.7 \text{ m}^2$$

$$A = 1.51 \times 0.30 = 0.5 \text{ m}^2$$

小口止コンクリート(2)

S=1:50



小口止コンクリート(2)

$$V = (0.67 + 1.00) \times 1/2 \times 3.3 \times 0.30 = 0.8 \text{ m}^3$$

$$A = (0.67 + 1.00) \times 1/2 \times 3.3 \times 2 + 1.94 \times 0.30 = 6.1 \text{ m}^2$$

$$A = 1.61 \times 0.30 = 0.5 \text{ m}^2$$

国災第30号 道路災

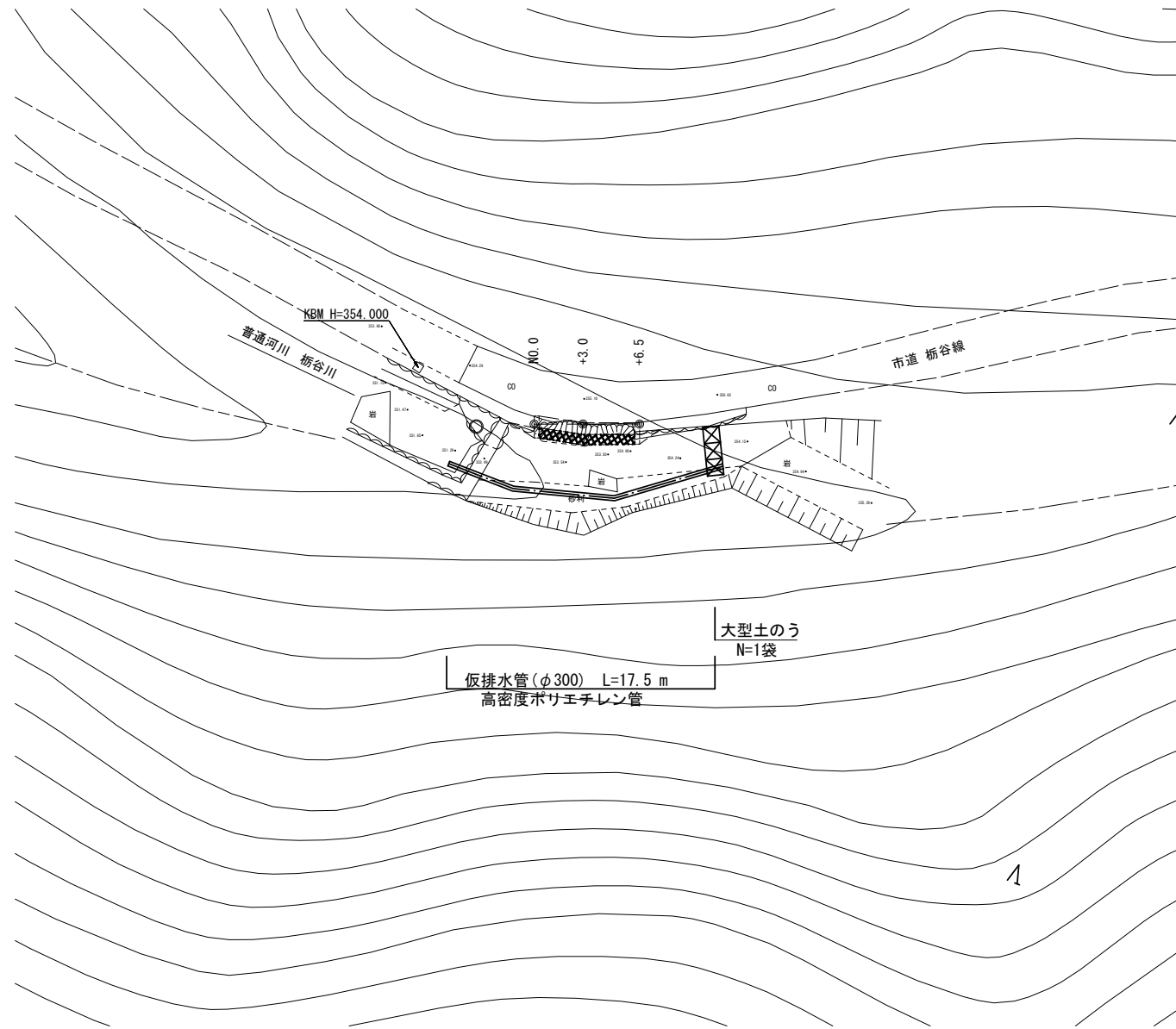
工事名	令和元年度南道災補第2号 市道柳谷線災復旧工事		
施工箇所名	津市美杉町上多気 地内		
図面の種類	工 法 図		
縮 尺	図示	図面番号	4 / 5
事業所名	津市建設部 津南工事事務所		

※この図面はA1サイズを原寸とする。

# 仮設工詳細図

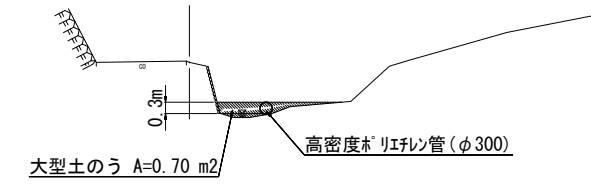
(参考)

平面図  
S=1:200



土留工

S=1:100



大型土のう  $N = 0.70 / (1.08 \times 1.10) = 1$  袋

国災第30号 道路災 (参考)

工事名	令和元年度南道災補第2号 市道橋谷線災害復旧工事		
施工箇所名	津市美杉町上多気 地内		
図面の種類	仮設工詳細図(参考)		
縮尺	図示	図面番号	5 / 5
事業所名	津市建設部 津南工事事務所		

※この図面はA1サイズを原寸とする。